

公開シンポジウム「ICT on Plant factory and intelligent greenhouse」の開催について

1. 主 催：農学委員会・食料科学委員会合同 CIGR 分科会、CIGR Plant Factory and Intelligent Greenhouse Working Group、日本生物環境工学会、農学委員会・食料科学委員会合同 農業情報システム学分科会、農学委員会 農業生産環境工学分科会、日本施設園芸協会
2. 共 催：なし
3. 後 援：日本農業工学会、農業情報学会、農業食料工学会、農業施設学会、日本農業気象学会、生態工学会、園芸学会、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉大学植物工場拠点）、大阪府立大学植物工場研究センター、愛媛大学植物工場研究センター、愛媛大学（予定）
4. 日 時：平成29年9月2日（土）13：30～17：00
5. 場 所：愛媛大学農学部 大講義室（愛媛県松山市樽味3丁目5-7）
6. 分科会の開催：開催予定（平成29年9月2日（土）10：00～12：00）
愛媛大学農学部 中会議室

7. 開催趣旨：

植物工場は、人工的な制御環境下において高効率の植物生産を行う農業生産施設であり、人類が持続的に農作物を獲得するためのツールとして社会的重要性が増している。環境制御技術が基盤となるが、ICT・自動化技術・機械化技術等の先端工業技術との融合による生産効率の最大化を目指した様々な取り組みが国内外でなされており、同時に、商業的成功を前提とした農業生産システムとしての社会実装も進められている。

Plant Factory and Intelligent Greenhouse (PFIG) Working Group (WG) は、国際農業工学会 (CIGR) に設立された人工光型植物工場と太陽光植物工場を対象とした各種技術開発と社会実装を網羅する WG である。本シンポジウムでは、とりわけ、植物工場における ICT に立脚した生産技術と最新の植物科学研究との融合による新たな植物生産のあり方について検討するとともに、数年以内の実用化を想定した技術開発のあり方について議論する。

8. 次 第:

司会: 清水 浩* (日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授)

13:30 開会の挨拶

大西 隆 (日本学術会議会長、豊橋技術科学大学長) (仮)

13:40 「How plants sense environmental cycles」(仮題)

Antony Dodd (ブリストル大学 [イギリス] 教授)、福田弘和 (大阪府立大学准教授)

14:25 「Daily plant data for intelligent environmental control in greenhouse」

E. V. Henten (ワーゲニンゲン大学 [オランダ] 教授)、高山弘太郎* (日本学術会議連携会員、愛媛大学大学院農学研究科准教授)

15:10-15:25 (休憩)

15:25 「Automation in agricultural production」(仮題)

Minzan Li (中国農業大学 [中国] 教授)、野口 伸* (日本学術会議連携会員、CIGR 分科会委員長、北海道大学大学院農学研究院教授)

16:10 「Current and future topics on plant factory」(仮題)

D. He (中国農業大学 [中国] 教授)、後藤英司 (千葉大学大学院園芸学研究科教授)

16:55 閉会の挨拶

澁澤 栄* (日本学術会議会員、CIGR 分科会副委員長、東京農工大学大学院農学研究院教授)

17:00 閉会

9. 関係部の承認の有無: 第二部承認

(*印の講演・登壇者は、主催分科会委員)